



第 134 号

発行 2012. 7. 20

新潟青陵高等学校

図書委員会

印刷

コーエイ印刷(株)

— も く じ —

表紙

トキの誕生……………	1
トキの誕生を祝う……………	2
トキについてもっと知りたい……………	3
読書エッセイ……………	4・5
「三浦しをん」の魅力に迫る……………	6



トキの誕生を祝う

はじめに…

今年4月22日、佐渡市で放鳥トキのペアから、ひなが誕生しました。自然界でのひな誕生は1976年以来36年ぶりで、2008年秋の初放鳥から計5回の放鳥を経て、初めて成功しました。ひな誕生までにトキは一体どんな道をたどってきたのでしょうか。そこで図書委員会では、いろいろな資料を集めて調べてみました。ここに、本とともに紹介しますのでみなさんもぜひ読んでみてください。

トキの出現と絶滅危機

古代から中世にかけて、日本列島にトキがどのように分布していたのか、どのくらいいたのかは全く分かりません。当時の文献にもその名が出ることはごく稀であったため、人目につくことがあまりない鳥であったと思われます。江戸時代になると、トキは他の鳥と同様に日本列島の各地に分布を広げ、幕末から明治初期にかけては、日本列島のほぼ全域に生息しました。しかし、幕末の動乱により禁猟区の制度がくずれたこともあり、トキの乱獲が起り、その数を減らしていきました。その後、1871年に大英博物館のグレイがトキの学名を「ニッポニア・ニッポン」と名付け、国内では、1908年に狩猟に関する規制でトキが保護鳥とされ、禁猟区の設定やエサ場の設置などトキを保護する活動が行われるようになりました。



『トキ
黄昏に消えた飛翔の詩』
教育社（1983年）



『トキよ羽ばたけ』
新潟日報社（2012年）

トキの保護と放鳥

1932年に農林省が捕獲禁止を決定、1952年には特別天然記念物に、続く1960年国際保護鳥に指定されました。1974年、トキ保護センターでトキの人工繁殖を推し進める方針が国の指導のもとで決定し、野生のトキの保護、中国産のトキとのペアリングなどトキ繁殖に向けた動きが行われていきました。1999年、中国産ペアから「優優」が誕生しますが、その裏で2003年、日本最後のトキ「キン」が死亡し、ついに日本産のトキが絶滅します。「キン」の死から5年後の2008年、トキの野生復帰に向けて、トキ10羽を放鳥する一次放鳥が行われ、大勢の人々が大空へ飛び立っていくトキの姿を見守りました。その後もトキの放鳥が毎年行われています。

ヒナ誕生、そしてこれから

今年、4月22日、放鳥されたトキのペアからついに、ヒナが誕生しました。このトキのペアからは3羽が、その後もほかの2組のペアからは5羽がふ化し、計8羽のヒナが自然界で誕生しました。そして、ヒナが巣立ち、野生復帰への大きな一歩を踏み出しました。一度は絶滅の危機に瀕したトキですが、多くの人に支えられ、ヒナの巣立ちまでたどり着きました。



『トキ物語 一佐渡島から一』
産経新聞出版（2010年）

トキについてもっと知りたい



『朱鷺の遺言』

小林 照幸 中央公論新社
トキとトキを守りたいと願った人々の奮闘が書かれています。かつては日本全土を飛び回っていたトキ。しかし、いつしか一羽また一羽と数を減らし、ついにトキを人間の手で保護し

なければならぬ事態となりました。今では放鳥もうまくいき、トキのヒナもどんどん数を増やしていますが、ここまでトキを繁殖させた人々がいたことを忘れてはならないと教えてくれる本です。

T 3-1 坂本悠梨子



『朱鷺のキンちゃん 空を飛ぶ』

新井 満 理論社

日本最後のトキ『キンちゃん』の話について書かれています。キンちゃん人間でいうと百歳以上生きたこととなります。キンちゃんが見つかったから捕獲されるまでのいろいろな人達的心情やキンちゃんの様子がとても面白く書かれています。キンちゃんの生き様に興味のある方はぜひ読んでみてください。

S 2-8 山田 颯太



『最後のトキ』

国松 俊英 金の星社
私は今までトキのことについて何も知りませんでしたが、この本を読みトキの生態を知ることができました。もともとトキは日本中に住んでいたのですが、今ではトキを見つけることは難

しいのです。なぜトキは姿を消したのか、この本を読めば知ることができます。トキに興味のある方、ぜひともこの本を手にとっていただければと思います。

S 2-3 星山 弘樹



『トキ 黄昏に消えた飛翔の詩』

山階 芳磨 他 教育社

数多くの写真や資料を通して、トキの生態や歴史について紐解いています。なかにはトキの数十羽の群れをなして飛んでいく姿を撮った写真など、今はなかなか見ることの出来ないトキの貴重な姿を見ることが出来ます。トキのヒナが巣立った今、トキの生態や歴史を知ってみてはいかがでしょうか？

T 2-1 鷺尾 慧



『朱鷺の国から』

新潟日報社報道部
農林統計協会

2008年9月、トキの野生復帰の第一歩として放鳥が行われました。放鳥後、トキはいったいどうやって生活をしたのか、また、自然界で初めて間近で見る

トキの姿に人々は何を感じたのでしょうか？この本は、放鳥後のトキと、トキを間近で見た人々の話をまとめたものです。1つ1つの話がとても短く、とても読みやすいので、ぜひ読んでみてください。

T 3-1 坂本悠梨子



『トキよ 未来へはばたけ』

国松 俊英 くもん出版

トキの過去から現在、現在から未来へ向けてトキを守ってきた人々についてや、トキの歴史について書かれた一冊です。佐渡のトキ保護センターを例にとり、そこでは毎年多くのヒナが生まれ、順化ケージで訓練された後、野生復帰を目指し放鳥されているのです。トキの歴史と絶滅から守ろうとした人達をたどり、今後、野生復帰がどのようにして可能になるのか、私達と生き物との関係を考えてみませんか？

S 3-3 山田 浩子

読書エッセイ

国際チャレンジコースの開設を記念し、今回の読書エッセイでは新任の英語科の先生 2 人に英語でエッセイを書いていただきました。



Books Are My Friends

Gerard Grillo 先生 (英語科)

I have had a long relationship with books. As a child, I didn't like to read very much because it was something that we had to do in school. At that time, I thought that if it was something related to studying it couldn't be fun. Of course, I was very wrong about that. I remember one summer when I discovered how much I liked reading when I was able to choose the books myself. From that point on, I was hooked on books.

When I was younger, I read everything I could find that had a car theme in it. I read books about the history of cars. I read about customizing them. I read about how they had changed over the years and what people thought they would look like in the future. During this time I also read a lot of "how to" books about how to fix cars. That gave me a completely new kind of reading to explore.

I found that books which teach "how to" do something gave me the fun of reading, the fun of learning something new, and the fun of having a new activity. These kinds of books helped me to like studying. Even if I didn't ever try to do the activities in this kind of book, I always found it very interesting. When I first lived alone, these books helped me to make a nice home on a very small budget. I learned to fix furniture. I learned how to find good items in a recycle shop. I learned to remake things. Sometimes I actually sold the things that I remade for some extra cash. It was a time in my life and an adventure that I have never forgotten. My interest in reading and study made all that possible for me to do.

After college, I found my love for novels. I will read almost any kind of novel. Mostly, I like novels that have some kind of mystery or detective story in them. I like other kinds of novels like adventure and can even read a love story but I think mystery novels are the best. I am always eager to find out how the mystery gets solved. A murder mystery novel is okay as long as it is not too violent.

My absolute favorite kind of book in the world is humor. Satire is probably the best for me. I love the way that humorous writers can take an everyday situation and find something funny about it. I will read any book that makes me laugh out loud regardless of what kind of book it is. Laughter is the most important thing in life. Nowadays, that is the biggest reason I have for always wanting to read a book.



My favorite book

常松 敬仁 先生 (英語科)

Do you have your own dream? I have a dream. My dream is that students live happily in the future. If they don't smile, I will feel sad. If they smile, I will feel happy. I want to make their future bright through my work. This is my dream.

I'll introduce one book to you. The title of the book is 'Dreams — from 1 year old to 100 years old'.

When you were an elementary school student, what did you want to do?

When you were a junior high school student, what did you want to do?

What do you want to do now?

What do your friends want to do?

What do your family want to do?

You can read 100 dreams in this book. What does a baby want to do? What does a 100 years old man want to do?

We are very busy and have a lot of troubles. We sometimes tend to lose our dreams because we are too busy. However, we must not forget our dream. Dreams are the reason why we live. This book reminds me of the importance of our dreams. Live passionately with a great dream.

あとがき

英語でのエッセイはいかがだったでしょうか？日本語に訳した文を図書館で配布しています。欲しい方はぜひ図書館まで来てください。

貸し出し休止のお知らせ

8月に図書館管理システムの入れ替え作業を行います。この間パソコンによる貸し出し・返却ができなくなる可能性があります。ご不便をおかけしますが、ご協力お願いいたします。(なお、貸し出し中の本はそれまでにお返しください。)



編集スタッフ

- K 3 - 1 立川未桜里
- K 3 - 1 遠藤 瞳
- K 3 - 1 佐藤 瑞穂
- T 3 - 1 坂本悠梨子
- S 3 - 3 山田 浩子 (表紙)
- S 3 - 5 藤野 瑞穂
- S 3 - 7 長澤 真奈
- K 2 - 1 藤本 楓
- T 2 - 1 鷺尾 慧
- S 2 - 3 星山 弘樹
- S 2 - 8 山田 颯太
- 普 1 - 6 高橋明日香

「三浦しをん」の魅力に迫る



<yahoo!>より

今、本校図書館で人気のある作家といえば、この人です。これまで多くの賞を受賞している中、今年の4月に『舟を編む』で本屋大賞を受賞したこともあり、図書館の貸し出し数は徐々に増えてきました。小説家としての彼女の最大の魅力は自己創造にとっても優れていて、ユニークな物語を次から次へとたくさん生み出せる才能が卓越していることだと思います。今回は、三浦氏の作品を読んだ人たちに感想を書いてもらいました。皆さんも、ぜひ三浦しをんの作品にチャレンジしてみてください。

1976年	東京都で生まれる。 早稲田大学第一文学部演劇科に進む
2000年	4月に小説『格闘する者に ^{まる} 〇』(草思社)を出版
2005年	『私が語りはじめた彼は』で山本周五郎賞候補 『むかしのはなし』で直木賞候補
2006年	『まほろ駅前多田便利軒』で同年上半期の直木賞を受賞(2009年文庫化) ★29歳での受賞であり、20代での直木賞受賞は堤千代、平岩弓枝、山田詠美に続く4人目
2012年	『舟を編む』が本屋大賞に選ばれる

本の紹介

夏休みに読んでみてはいかがでしょう?

2012年本屋大賞受賞作!

2006年直木賞受賞作!



『舟を編む』

光文社

玄武書房に勤める主人公、馬締が営業部から辞書編集部に異動になり、

国語辞典「大渡海」を編集することになります。言葉という海へこぎ出す舟一冊の辞書を編集する様子にひきつけられます。

S 2-5 石田沙弥香



『まほろ駅前多田便利軒』

文春文庫

この本は、まほろ市という東京のはずれに位置する都南西部最大の町が舞台になっています。便利屋を営む多田啓介のもとに高校時代の同級生の行天春彦が転がり込んで様々な依頼をこなしていく物語です。

1-6 高橋明日香



『天国旅行』

新潮社

心中をテーマにした7つの短編集です。その中の「森の奥」では、富士の樹海で自殺に失敗した富山明男が樹海で出会った青木という男に導かれ、森の奥へと進んでいきます。青木と数日を過ごすうちに、明男の中の自殺するという決意は揺らぎ、そして…

この続きは本で読んでみてください。
K 2-1 藤本 楓



『仏果を得ず』

双葉文庫

人形浄瑠璃、義太夫に熱中する健は、三味線の兎一郎とコンビを組むことになり

ます。変わり者と噂される兎一郎に初めは戸惑う健ですが、練習を重ねていくうちに兎一郎の三味線の高い技術に魅せられていきます。健の芸に対する真っ直ぐさが読む人を前向きにしてくれます。

S 3-7 長澤 真奈



『むかしのはなし』

幻冬舎文庫

この本には、7つの短編物語が描かれています。それは全て、日本昔話を基に作者が創意工夫した物語です。また、幻想の世界とっていいほど、なんとも不思議な空間を味わうことができます。

K 3-1 遠藤 瞳



『木暮荘物語』

祥伝社

舞台は、東京郊外の築ウン十年の古いアパート。

住人の生活音は筒抜け。そんな快適とは程遠い『木暮荘』でも、人のぬくもりと心地よい繋がりがああります。温かい読後感につつまれる連作短編集です。

K 3-1 佐藤 瑞穂